

ボイラー設置届

様式第 11 号 (第 10 条関係)

事業の種類		事業場の名称		事業場の所在地		
		電話()				
使用の目的						
ボ イ ラ ー 室	位置	一階	地階	二階	その他	
	構造	木造・鉄骨造 鉄筋コンクリート造 その他	床面積	延	m ²	
	ボイラーの外側と天井(天井がない場合は屋根裏)との距離	m	ボイラーの外側とボイラー室の壁との間の最短距離	m		
	出入口の構造	外開き式 引戸式	出入口の数			
燃焼室炉壁の構造		普通空冷 れんが壁 水冷壁	燃焼方式	手だき	ストーカ 燃 焼	バーナ 燃 焼
燃 料		石炭 微粉炭 重油 ガス その他	給 水 装 置	種 類	給水能力	数
					ton/hr	
					ton/hr	
					ton/hr	
給水加熱器		有 無	連続ブロー装置	有 無		
自動制御方式		全自動 燃焼系	その他	自動制御装置	低水位燃料遮断装置 低水位警報装置	燃焼安全装置 その他
空気予熱器		有 無	煙 突	構 造	口 径	高 さ
ストレージ タンク		有 無		鋼板製 鉄筋コンクリート製 その他	m	m
設置工事を行う事業場の名称(電話番号)及びその所在地			据付工事作業主任者の氏名及び講習修了証の番号			
設置工事落成 予定年月日		年 月 日				

平成 年 月 日

事業者 職 氏名

印

労働基準監督署長 殿

備 考

- 1 の欄は、日本標準産業分類の中分類により記入すること。
- 2 、及び から までの欄は、該当する事項に 印を付すること。
- 3 の欄は、本体を被覆したボイラーについては、記入する必要がない。
- 4 氏名を記載し、押印することに代えて、署名することができる。